

西尾未来づくり会議の意見対応について

5回にわたって開催した市民と職員によるワークショップから、以下の6つの提案がされました。

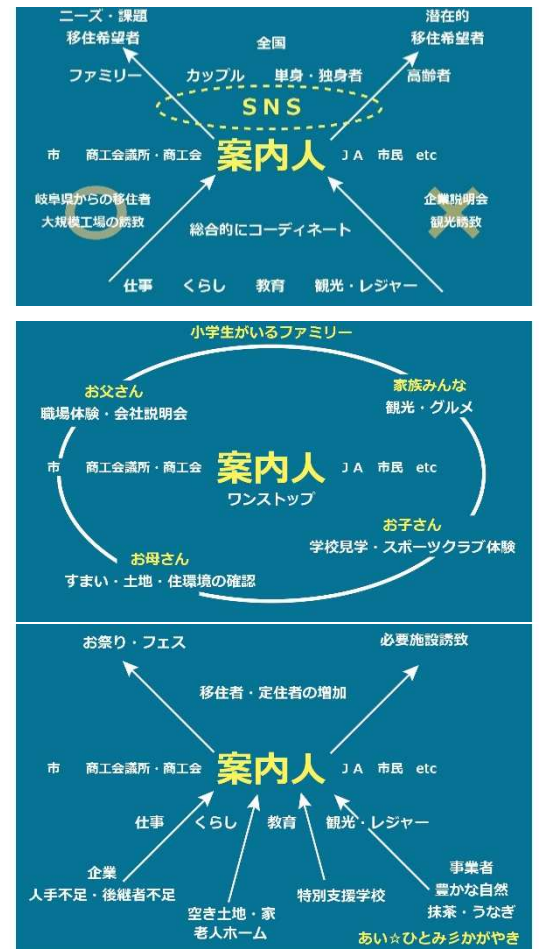
※にしお未来創造ビジョン（資料1）への反映は緑色で着色しています。

●西尾未来づくり会議…にしお未来創造ビジョンへプロジェクトを提案してもらう市民参画会議

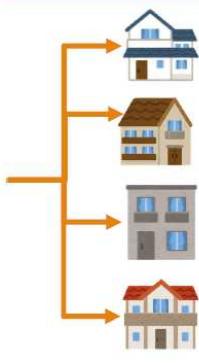
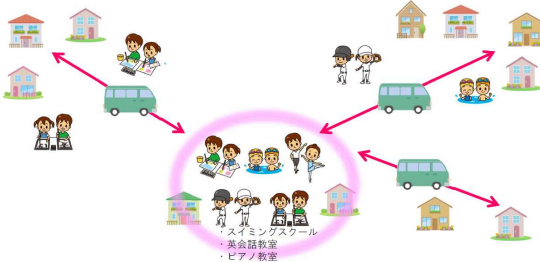
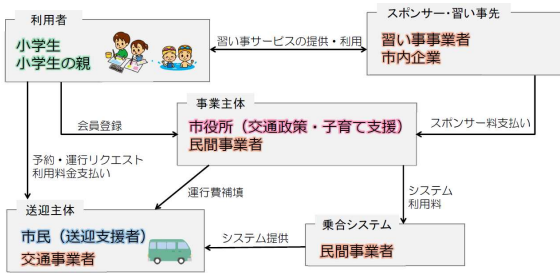
チーム	プロジェクト名	概要	にしお未来創造ビジョンへの対応
A	住もう！暮らそう！かがやくまち	西尾の魅力を発信し、西尾にある企業や人を結びつける「案内人」を設立。案内人は、SNSを活用し、全国の様々な人に西尾への移住・定住を促す情報発信する。 また、ワンストップで様々な情報発信しマッチングする役割をもつ。	[P33] ・にしおワクワク戦略2「活動」のリーディング事業に「共創によるボランティア育成事業」として「総合的な情報発信をできるボランティアの育成」を位置づけました。
B	まちをみんなの学校に～人がゆたかに育ち合うまち～	「日本一あいさつの出来るまち宣言」 ・市民みんなで、まちを豊かに繋げるために楽しんでやっていくことを宣言する。	・今後の参考とさせていただきます。
		「まちのみんなの学校をつくる」 ・子どもの学習権を保障したまちの新たな学校、不登校特例校を創る。	[P71] ・施策 321②において、不登校問題等について、効果的な対応方法を検討し、具体的に進めていくことを記載しました。
		「農福連携」 ・農業分野での活躍を通して、障害者の社会参画を促していく取り組みを進める。	[P37] ・にしおワクワク戦略4「居場所」のリーディング事業に「農福連携事業」を位置づけました。
C	子育て世帯を救え！送迎コスト削減プラン	「習い事拠点集約」 ・送迎不要で習い事に参加できるように、学校内に習い事拠点を集約する。	・今後の参考とさせていただきます。
		「送迎手段の集約」 ・児童が授業を受けた後、習い事に参加できるように、習い事先に応じ集団で送迎する。	[P68, 69] ・「現状と課題」において、「ファミリーサポートセンターへの依頼は、習い事などの送迎が多数を占めており、援助会員を増やすことが必要」であることを取り上げ、施策 311②で「ファミリーサポートセンターの充実」を位置づけました。
D	ウォーターブレパーク	遊ぼう茶などの公園を再整備して、水辺を楽しめる場所をつくる。 矢作古川などで SUP を楽しめるような空間づくりを行う。	[P61] ・公園整備の一環であると捉え、施策 241②において、「公園整備事業の推進」として記載しました。
F	しあわせの糸プロジェクト	「居場所」についての情報を一元化したプラットフォームを構築・運営する。	[P37] ・にしおワクワク戦略4「居場所」のリーディング事業に「各相談窓口の連携強化」を位置づけ、「あらゆる市民に対応した居場所づくりを検討」していくこととしました。
G	しあわせのわくわくパレットテラス	パレットを市内の空きスペースに設置し、パレットで小さな居場所と小さなにぎわいを作り出す。	・総合計画には記載していませんが、西尾駅前にパレットを試験的に設置しています。

Aチーム

プロジェクト名	住もう！暮らそう！かがやくまち		
チーム名	あい☆ひとみ多かがやき		
現状と問題点	・市の人口もまもなく減少 ・生産年齢の減少→農業、観光、工業全分野で後継者不足、人手不足への影響が大		
あるべき状態	後継者問題を解決し、西尾の魅力をみえる化し、あらゆる世代の移住・定住を目指す		
実施時期	通年	実施場所	市内全域
事業主体	市・商工会議所・商工会、市民・JA	対象者	市外ファミリー層
活動内容	「案内人（あないひと）の設立」 西尾の魅力を発信し、西尾にある企業や人を結びつける「案内人」を設立する。 企業誘致や観光誘致など様々な人・団体がそれぞれに情報を発信するのではなく、案内人が仕事・暮らし・教育・観光を総合的にコーディネートして情報発信する。案内人は、移住者に対して、市内にある様々な情報を横連携させて、発信させる役割をもつ。 案内人は、SNS を活用し、全国の様々な人に西尾への移住・定住を促す情報発信する。 父親に対しては職業体験や会社説明、母親に対しては住環境の情報、子どもに対しては小学校の見学会やスポーツクラブ体験、家族で楽しめる観光施設や食の体験など、案内人はワンストップで様々な情報発信しマッチングする。		
予算	合計 40,000,000 円	人件費（5名） 情報発信	30,000,000 円 10,000,000 円
成果 波及 効果	移住者を年間数名確保。 移住者から得られる税収、事業者の事業継続、空き土地・家対策、観光分野の収入増が期待できる。		



プロジェクト名	まちをみんなの学校に～人がゆたかに育ち合うまち～
チーム名	まちのみんなの学校
現状と問題点	・安心するから同じ人でつながり変化がない ・新しい意欲あるところが出てこない。前例がないから動かない ・不登校が多い ・外国人、障害者など多様性のある人の繋がり
あるべき状態	日本一！ みんながつながるまち、人がゆたかに育ち合うまち
活動内容	「日本一あいさつの出来るまち宣言」 費用0円 ----- 誰でも、誰とでも、初対面の人にも、簡単に誰かを元気に幸せにでき、つながるきっかけをつくってくれるあいさつを、市民みんなで、まちを豊かに繋げるために楽しんでやっていくことを宣言する。 【日本一！あいさつのできるまち西尾宣言】を実現するために 意図 ・自分たちで「まちを豊かにするためのあいさつ」 ・この意義付けをしっかりと行うことがこの宣言の肝！ ポイント ・大人が対象 ・子どもたちにやらせてやった気にならないように ・「やらせ」ではなく、楽しく主体的に取り組めるようにする やり方 ・明るく親しみやすいキャラクターやロゴ製作 ・市内様々な団体、組織や協会等に声がけをして参加を促す ・市長によるメディア発表など話題作り ・「大声あいさつコンテスト」等を実施 「まちのみんなの学校をつくる」 子どもの学習権を保障したまちの新たな学校、不登校特例校を創る。 既存の施設（中央ふれあいセンターなど）を活用し、学ぶ内容も学ぶ場所も、通知表や先生も選べ、町のいろんな大人がやってきて教科以外のことも学べ、子どもたちが安心できる居場所となる学校、フラットな関係で人と対話ができる場をつくる。 「農福連携」 農業分野での活躍を通して、障害者の社会参画を促していく取り組みを進める。障害者の就農が人手不足の解消や多様性への理解につながり、障害者の自信や生きがいにつながります。さらに、引きこもりや外国の方など、地域社会とのつながりを必要とする全ての人に広げることも可能。 西尾版地産地消の農福連携の実現へ向けて プロジェクトチーム立ち上げ ・西尾市の農水産、JA西三河、農産支援協議会、にしお野営教育会、にしおプロジェクトチーム ・先進事例の見学、研修等 ・「誰がいのちについて」展覧会について ・作業の切り出し・マッチングの仕組みづくり 特別支援学校と農業関係者のコラボ推進 ・児童生徒の農業体験（実習） ・児童生徒の作業に地元産の食材を取り入れる 例）JA婦人部とコラボでフーズアレンジメント（フーズアレンジメントも視野に） ・児童生徒によるアート作品製作 例）農業関係者（野菜や果物等）のキャラクターや加工品のラベルデザイン ・三河大橋（豊田地区）の栽培や製品化 ・農業の施設等を利用した観音作り （＝市民、市内の高齢者などから募集） 農福カフェ作り ・近いの範囲内など、にしお特産の近所で、地域の交流場所を作る ・地産地消につながるメニューで、卒業生の働く場、在校生の実習や体験の場になる ・学校の「ロビー」等に作品展示など、保護者の交流スペースとしても機能する 共同農園作り ・複数の福祉事業所共同で、作業（生産）にも、レクリエーションにも利用できる農園 ・土地との関わりを必要とする全ての人に開かれた、交流の場となる農園 みんながまちで役に立ち一緒に暮らせる西尾へ 市内の田畑がまちのみんなの学校に！

プロジェクト名	子育て世帯を救え！ 送迎コスト削減プラン		
現状と問題点	・市民の過度なクルマ依存意識 ・子どもの送迎を8割超の方が負担に感じている〔独自調査〕 ・3割の方が、「送迎ができず習い事をさせられない」「習い事の送迎が負担」と思っている。〔独自調査〕 ・子どもの数が多いほど「習い事の送迎」に困っている。〔独自調査〕 ・子育て世帯女性のフルタイム労働が困難		
あるべき状態	・送迎なしで習い事が受けられるよう「習い事拠点集約化」と「送迎手段の集約化」		
実施時期	令和5年度	対象者	子ども達、保護者
活動内容	「習い事拠点集約」 送迎不要で習い事に参加できるように、学校内に習い事拠点を集約する。学校内に集約することで、学校から通常通りに下校することが可能となり、親の送迎なしに習い事ができるようになる。 都市マスや立地適正化計画で地域拠点に「子育て支援機能」を位置づける。既存施設（吉良中、一色支所、幡豆小/幡豆中）を活用し、習い事が受けられる環境を整備する。 「送迎手段の集約」 児童が授業を受けた後、習い事に参加できるように、習い事先に応じ集団で送迎する。 ファミサポを利用した市民送迎、または交通事業者への委託を想定する。 送迎先の習い事事業者や市内企業からの協賛金等を募り、運営費に充てていく。 学校内に習い事拠点を集約 →送迎不要での習い事参加  学校から通常通り 帰宅   		
予算	交通事業者委託費 or ファミサポ制度拡充で異なるが、1,000～3,000 万円/年程度を想定		
収入	・送迎サービス料：550 万円/年（2,000 円/月・人×230 人想定） ・施設協力金, スポンサー料：20～120 万円（3～5,000 円/月・施設×5～20 施設）		
支出	・交通事業者委託費：～3,000 万円/年 ・ファミサポ制度の拡充：1,200 万円/年～ ・運営費：100～500 万円/年		
成果	送迎の心配がなく習い事サービスを受けられるまちへ 女性の社会進出を支援するまちへ 自立した交通手段が選択可能なまちへ		

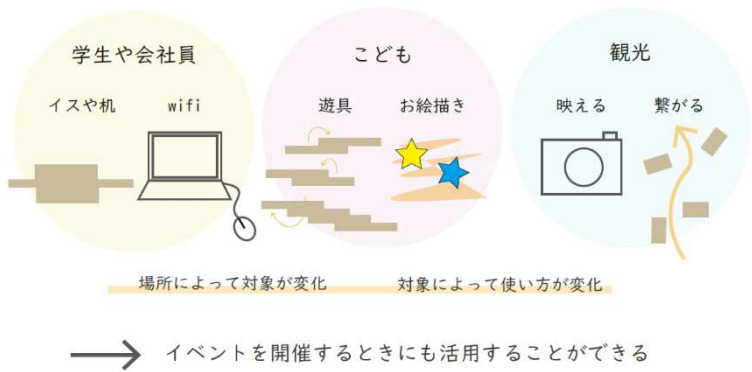
D チーム

プロジェクト名	ウォータープレパーク		
チーム名	水辺		
現状と問題点	・人が集まる場所がない ・親子で遊ぶ場所がない ・水辺で遊ぶ場所がない		
あるべき状態	現状ある公園を整備して、水辺を楽しめる場所をつくる！		
実施時期	早々	実施場所	岡ノ山遊ぼっ茶広場あたり
事業主体	官民連携	対象者	水辺で遊びたい親子、各種団体
活動内容	水辺を活用している団体に水辺の調査を協力してもらう ↓ 各種団体に水辺の活用の許可を得る ↓ 各種団体による水辺活用の提案をする ↓ 親子や市民が楽しめるイベント開催 ↓ 西尾市に水辺を楽しめる場所が誕生する		
予算			
成果	遊ぼっ茶広場利用者数の増加		
波及効果	市民の楽しめる場所が増えて定住者 UP！		

F チーム

プロジェクト名	しあわせの 糸 プロジェクト		
チーム名	サードプレイス		
現状と問題点	さまざまな人がそれぞれの役割の中でネガティブな思考や感情を抱え、しあわせ感を感じられない現状 ・健康の不安（高血糖者 57.5%／国保特定健診受信者） ・日々追い込まれている（健康問題、経済・家庭問題、など） ・一人ひとりの多様性が受け入れられない社会環境がある		
あるべき状態	市民一人ひとりが心地良く居られる時間と環境（サードプレイス）を持ち、仲間との交流や助け合いを一助として ・心身の健康を保ち ・家族や社会とのつながりを持ち ・多様性が受け入れられ、すべての人が生き生きと暮らす ために、しあわせを求め、感じ続けられる「環境と仕組み」がある		
実施時期	令和 5 年～	実施場所	西尾市内
事業主体	市民、NPO 法人、行政	対象者	市民 17 万人
活動内容	「居場所」についての情報を一元化したプラットフォームを構築・運営。（官主導） 市民一人ひとりが心地良く居られる時間と環境（＝サードプレイス）を自由に選択でき、「しあわせ感」を求め、そして、感じられる環境と仕組みを構築する。（官民連携） コンセプト しあわせ感の向上 サードプレイス★プラットフォーム（官民連携） サードプレイス★プラットフォームの構築（官民連携） 「居場所」についての情報を一元化したプラットフォームを構築・運営。（官主導） 市民一人ひとりが心地良く居られる時間と環境（＝サードプレイス）を自由に選択でき、「しあわせ感」を求め、そして、感じられる環境と仕組みを構築する。（官民連携）		
予算	サードプレイスプラットフォーム構築費用 500 万円 サードプレイスプラットフォーム運営費用 100 万円／年		
成果	数値目標：どのくらい幸せを感じているか（市政世論調査） 現状平均 6.7 点⇒目標 8.0 点		
波及効果	・人口増加 ・生活習慣病等の治療にかかる医療費の抑制 ・将来の要介護者数減少（健康寿命の延伸） ・不登校、引きこもりの減少 ・あなたらしさを追求した生きがいの創出 ・少子化抑制 etc…		

Gチーム

プロジェクト名	しあわせのわくわくパレットテラス		
チーム名	わくспе（わくわくスペース）		
現状と問題点	・ まちには空いたスペース、利用していないスペースがある ・ にぎわいがそのスペースにない		
あるべき状態	・ 空いているスペース→人の居場所へ ・ にぎわいをつくる→動線もにぎわいを ・ イベントのみではなく普段から使える ・ 駅前に流れをつくる		
実施時期	準備ができ次第	実施場所	西尾駅周辺、市役所の芝生 市の空き地など
事業主体		対象者	地域の人、学生、会社員、子ども 連れ家族、観光客など
活動内容	パレットを市内の空きスペースに設置し、パレットで小さな居場所と小さなにぎわいを作り出す。		
	【想定される 設置場所】		
	【想定される 使われ方】	 → イベントを開催するときにも活用することができる	
予算	1. 西尾駅・西で 20～30 個 124,000 円 2. 塗装するようのペンキ代 3. W i f i 4. 危なくないよう固定するもの		
成果	1. 人数→利用してもらえたら成功！！ 2. 次に設置して欲しいスペースをリサーチ →利用者に聞く		
波及 効果	1. 人の集まりやすい場所の提供 2. どんどん賑わいが広がる 3. その周りの導線へも影響を！！		